

# 情報学部・経営情報学科

経営情報学科は、企業を支える4つの資源『ヒト、モノ、カネ、情報』を管理するための知識と技術を習得し、さらにそれらの資源を効率よく管理するための情報技術も習得できる学科です。経営情報学科には、多くの特徴がありますが、今回は『ゼミ』について紹介します。

## 『ゼミ』ってどんな授業

- 少人数のサークルのような授業
- 講義では聞けない裏話が聞ける
- 先輩のような先生
- 先生の経験や体験も教材
- 講義は欠席しても、こっちは出る！
- 卒業しても印象に残る授業

経営情報学科には、右図のように入学から卒業まですべての期間にゼミが配置されており、ゼミへの配属は、基本的に学生自身の希望によるものです。

数多くあるゼミの中で、今年から始まった2つのゼミを紹介します。一つは小嶺ゼミ、もう一つは藤澤ゼミです。

4年	後期：	卒業研究
	前期：	
3年	後期：	実践ゼミ
	前期：	プレ実践ゼミ
2年	後期：	経営情報ゼミナールⅣ
	前期：	経営情報ゼミナールⅢ
1年	後期：	経営情報ゼミナールⅡ
	前期：	経営情報ゼミナールⅠ

経営情報学科のゼミ

## あの小嶺監督が指導する

誰もが知っている国見高校サッカー部元総監督、現V・ファレン長崎社長の小嶺先生が指導します。テーマは『スポーツマネジメント』。ゼミの教材は、小嶺先生自身の体験や経験です。よい選手を育てるためには、スポーツと経営(管理)の知識を持った人材が必要なのです。話題も豊富。全国制覇の裏話、Jリーグや有名なJリーガーの話など、いくらでも出てきます。



## 現役の経営コンサルタントが指導する

中小企業診断士の資格を持ち、地元長崎で経営コンサルタント会社を営んでいる藤澤先生が指導します。藤澤先生は多くの地元企業の経営改善を指導してきており、そのノウハウがゼミの教材です。また、藤澤先生の著作「和する経営『報連相』の秘密」(新生出版)も教材の一つです。実際、経営改善活動の現場に出て行って、経営者や従業員の息遣いを感じることもあります。学生にとって、このゼミから得るものは非常に大きいでしょう。学科内では、「就職が最も早く決まるゼミ」として評判です。

